



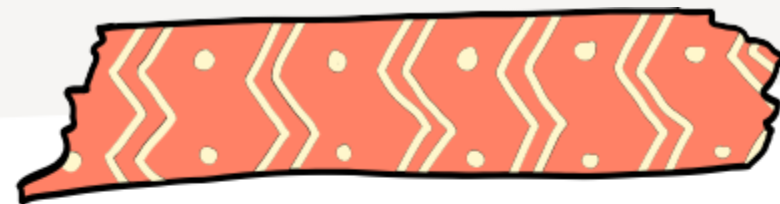
¥¥ 私の
//

APU LIFE & 社会人 LIFE



2022年春卒業
古川 光





はじめに

古川 光 (Furukawa Hikari)

- 2018年春入学 / 2022年春卒業
- 大切にしていることは”やりたいことには何でも挑戦！”
- 大学時代の一番の思い出は、”ラオスでゾウ使いになったこと”
- 現在は別府市役所で勤務（社会人3年目）



Topics

- なぜAPUを選んだ？
- 実際の学生生活は
- 卒業後、今
- APU時代の学びがどう
生きているか
- 今後のこと



なぜAPU?

高校生の私が考えたこと



なぜAPU?

高校3年生まで

興味分野は

- 動物・自然・農業
- 外国のこと

農学部を目指していた。

※高2から1年間ドイツで交換留学もした



高校3年生の夏

高校で開催された大学説明会でAPUのことを知る！

APUの人は、別府の街のことを「下界」と言います！
という言葉にハートをつかまれました

高校3年生の秋～冬

国立大学（農学部）と併願してAPUを受験



結局APUのほうが自分の将来にも役に立ちそうと思い、ここに決定！！

いろんな国や地域からくる学生と出会える



自分の価値観や世界観が広がるかもしれない

実際に入学して思ったのは



実際に入学して思ったのは

(良い意味で)

変人がいっぱい！！

自分の軸を持っている・やりたいことを頑張っている
人が多いと感じました



大学生生活をまとめると

貧乏旅

今しか自由な時間がないから！と
両親に言われ、長期休みは海外
へ。

お金がなかったので、格安のゲスト
ハウスに泊まったりもしましたが、
現地の人と仲良くなってロー
カルレストランに連れて行っても
らったのはいい思い出です。



大学生生活をまとめると

貧乏旅

今しか自由な時間がないから！と
両親に言われ、長期休みは海外
へ。

お金がなかったので、格安のゲスト
ハウスに泊まったりもしましたが、
現地の人と仲良くなってロー
カルレストランに連れて行っても
らったのはいい思い出です。

サークル

エイサーを踊るサークルがとて
も楽しくて、没頭。

2回生の終わりには副代表をし
て、踊るのは楽しかったのです
が、トップに立つことの大変さ
を知ったときでもありました。



大学生活をまとめると

貧乏旅

今しか自由な時間がないから！と
両親に言われ、長期休みは海外
へ。

お金がなかったので、格安のゲストハウスに泊まったりもしましたが、現地の人と仲良くなってローカルレストランに連れて行ってもらったのはいい思い出です。

サークル

エイサーを踊るサークルがとても楽しくて、没頭。

2回生の終わりには副代表をして、踊るのは楽しかったのですが、トップに立つことの大変さを知ったときでもありました。

起業

高校生の時に持っていた社会に対する疑問をどうにか解決できないかと思い、1回生の時に出口塾（起業部）に入塾。

卒業までに「あまいろ商店」として実現し、今も活動を続けています！

※もちろん勉強の手を抜かないことも大事にしていたので、常に成績をキープするよう努力していました。



あまいろ商店のきっかけ

高校生の時に、日本に存在する「食品ロス」と「貧困」
の問題について知る



大学1年生の時、APU起業部（ 出口塾 ）の1期生に応募



「誰かがする」と思っていたが、自分でも解決に向けて
何かできるのではないかと、思うようになった



あまいろ商店のきっかけ

食品ロスと食の貧困問題を解決する値札のないスーパーマーケットの開店を目指す



3回生の時、コロナが流行る



授業も行けない日々が続き暇を持て余す



この間に準備を進めた！！



あまいろ商店のきっかけ

2020年11月に初のイベントを開催

来場者数：約260名 陳列した食材：約35種類



初めて実現できたとともに、出口前学長にもお越しいただき、とても嬉しかった記憶があります！

「あまいろ商店 ひよこ店」をスタート

2021年4月から
常設店を開店



これまでの来客者総数

4,834人

あまいろ商店の初イベントとなる第1弾のイベント
から、これまでにご来店いただいたお客様の総数
(2024年1月末時点)



これまでの食材レスキュー量

6t711kg

規格外や販売期限切れなどの理由で
あまいろ商店に提供された食材の総量
(2024年1月末時点)



卒業を前にして...

先生・先輩・友人に勧められ、
「安藤百福名誉博士栄誉賞」に応募することに

※日清食品ホールディングス株式会社創業者の安藤百福氏のご寄付により設置された賞。
栄誉賞に選ばれたら100万円＋卒業生代表スピーチをすることになっています。
どの受賞者を見てもスゴイことをしている人ばかり。「私なんかが受賞できるわけ...」
と思っていましたが、周りの方々に背中を押されダメ元で応募することになりました。

その結果...→

安藤百福名誉博士栄誉賞を受賞！



就職について

4回生の夏まで
何も考えていない

まず、何から始めたらいいかわからない…。



就職について

- 人の幸せの基盤を作る仕事がしたい
- 佐賀（地元）で仕事がしたい
- 学生時代に別府でお世話になったのでこのまま別府に残る
- 自分のやりたいことだけで生きていく？

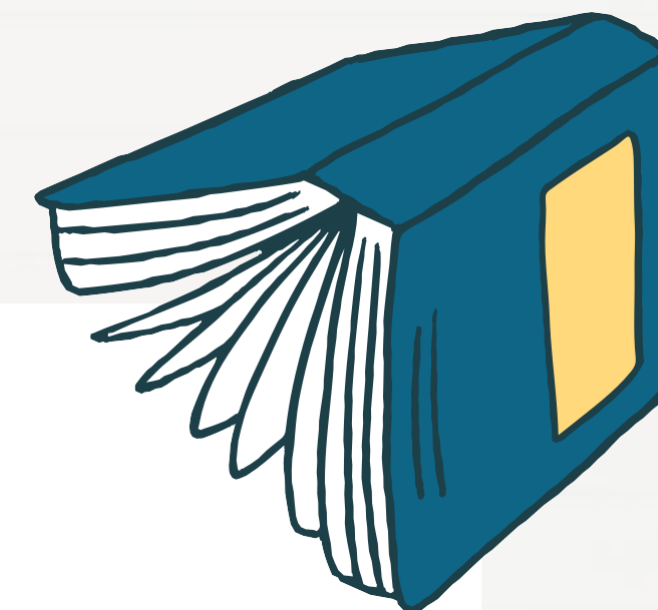


就職について

別府市役所に入庁することに決めた

- 行政の仕事は公益性がある = 分け隔てなく市民の幸せづくりに貢献できそう
- 学生でお世話になったので、別府で恩返ししたい
- 3回生の時に出たビジネスプランコンテストの時に出会った職員の方がとても楽しそうに働いていた





別府市役所に入庁してからの仕事

(1年目)
2022年4月～

産業政策課

- 起業創業支援
- 就労支援

自分の過去の経験が生かせると感じました。
一方で、「社会人」という新たな環境に慣れるのに必死

(2年目)
2023年5月～

生活環境課

- 新エネルギー
- 地球温暖化対策

APUでは環境・開発学を専攻していたので、学問として学んだことが生かせる仕事。

(3年目途中)
2024年9月～

選挙管理委員会

- 衆院選に向けた準備など

選挙の裏側が分かる仕事。とても大変な毎日ですが、とても重要なお仕事をしていると実感します。



APUでの学びがどう生きたか？

①自分の意見を伝える・議論することを大事にする

- 大学ではグループワーク・あまいろ商店の経験などを通して自分の意見を発言する場が多くあった。
- 自分の思っていることは言わないと誰にも伝わらないと知った。
- APUは否定しない雰囲気がある。それが自信につながった



APUでの学びがどう生きたか？

②多角的な視点で物事を見ることができる

いろんな国や地域から来ている学生がいる。自分の当たり前が当たり前ではないということを実感する4年間だった

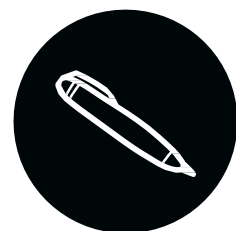


仕事の効率化だけではなく、“どうしたら利用者にとってより良い手段となるか”を考えることにもつながっている





今考えていること・今後の目標



自分らしい・後悔しない生き方をするにはどうしたらいいのか

- 今の仕事は楽しくできている
- でも本当にこのまま今の仕事を続けていくのか？それとも別の道に進むか？悩み中



いつかは、法人化したい

- 現在あまいろ商店は学生を中心としたボランティアで運営している
- しかし昔から在籍しているメンバーも社会人に
- 将来的には、ソーシャルビジネスとして社会に貢献できる形にしたい



もしよろしければあまいろ商店SNSの フォローもお願いいたします！

¥¥運営メンバーも募集しています！
//



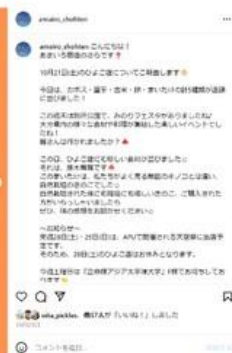
facebook
@amairoshohten



Instagram
@amairo_shohten

SNSの啓発活動

ひよこ店投稿



知識系投稿



イベント報告、 農業体験レポートなど

